

2020年9月9日

アクションプランの取組状況

令和2年度第1四半期のアクションプランの取組状況をご紹介します。

アクションプランに対する地域の皆様のご理解とご協力を深く感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響収束が見通せない中ではありますが、引き続き、地域の皆様と一体となって線区の活性化に取り組んでまいります。

※ アクションプランについては当社ホームページに掲載していますのでご参照ください。

1. 取組状況について

- 第1四半期は、各線区とも新型コロナウイルスの影響で予定しておりましたイベント等が中止・延期となり、多くのアクションプランの取り組みができませんでしたが、このような中でも感染拡大防止等に留意しながら取り組みを進めました。
- 地域の皆様のご理解とご協力を深く感謝申し上げます。

2. 今後の進め方について

- 新型コロナウイルスの影響は、アクションプランの今後の取組にも影響が生じざるを得ない状況にありますが、引き続き利用促進、経費削減等に取り組んでまいります。
- アクションプランの検証を行う際には、新型コロナウイルスが及ぼした影響を踏まえた検証となるように進めてまいります。
- 引き続き地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、できる範囲で第2期集中改革期間に向けた取組を進めてまいります。

釧網線(釧路～網走間)

旧南弟子屈駅を弟子屈町へ譲渡 (5月13日撮影・旧南弟子屈駅)



令和2年3月ダイヤ改正時に廃止となった南弟子屈駅の駅舎を弟子屈町へ譲渡するため、駅舎の移設を行いました。弟子屈町では、地域にとって思い出深い駅であり今後は南弟子屈地域の歴史を伝えていくための貴重な資料館として活用を計画しています。

高校生と地元住民団体による駅舎の清掃及び花壇整備 (6月10日撮影・清里町駅)



清里高校生ユネスコ部や地域のボランティア団体の皆さまにより、駅舎内の清掃及び駅舎周辺やホームの花壇等にピンクや黄色の花の苗を丁寧に植え付けていただきました。

花咲線(釧路～根室間)

地元中学生による列車乗客への「すずらん」プレゼント (6月12日撮影・厚床駅)



すずらん贈りは、厚床中学校生徒の発案により、昭和38年から実施し、今年で58回目を迎える伝統行事です。今年度は14名の生徒が新型コロナウイルス対策としてマスク・手袋を着用のうえ、メッセージカードを添えてホームから窓越しに手渡ししました。

花咲線利用促進の取組みを拡充



平成30年6月から開始した花咲線利用促進のための「普通列車を観光列車にする取組」に、旅を楽しむでもらうコンテンツとして令和2年度から「花咲線のあじわい」を拡充。ご当地弁当を列車内であじわうことができる駅に落石駅・茶内駅を追加し、販売を開始しました。

石北線(旭川～網走間)

町民の皆様による駅周辺の環境美化活動の実施 (6月6日撮影・美幌駅)



美幌町フラワーマスター連絡協議会、商店会、美幌高校ボランティアサークル等の美幌町民の皆さま61名が参加して、美幌駅及び駅周辺にマリーゴールドなど9種類、約6,000株の植栽を行いました。

宗谷線(旭川～稚内間)

士別市内4駅利用実態調査の実施 (6月12日撮影・士別駅)



6月12日士別市内にある4駅(士別駅、下士別駅、多寄駅、瑞穂駅)の利用状況を把握するため、士別市が利用実態調査を実施しました。

JR利用促進助成制度の実施 (北見市、網走市、大空町、遠軽町、旭川市)



JR利用促進を目的に北見市、網走市、大空町、遠軽町及び旭川市がグループ旅行や幼稚園の鉄道遠足、特急利用のお客さまなどへの助成制度を設け、石北線等の利用促進に取り組んでいます。

花で駅を飾るおもてなしの取組 (6月21日撮影・音威子府駅)



6月中旬、音威子府村の高校生および有志の皆さまが、村内4駅(音威子府駅、天塩川温泉駅、咲来駅、茂島駅)に色とりどりの花を植える取組を行いました。

富良野線(富良野～旭川間)

広報誌に町と鉄道の歩みを紹介 (広報誌6月号の掲載紙面)



中富良野町の広報誌6月号に中富良野町125年の歩みとして「中富良野の鉄道」として富良野線と中富良野駅の開駅と中富良野町の開拓について掲載し、鉄道と町の歩みを紹介して鉄道に関心を高めていただく取組を行いました。

利用実態調査の実施 (6月25日撮影・旭川駅)



旭川市がJRの利用促進策を進めるうえで、旭川駅を発着する富良野線、石北線及び宗谷線の季節ごとのご利用状況の把握を目的にご利用調査を行いました。

根室線(滝川～新得間)

富良野駅に「花ポット」を設置 (6月11日撮影・富良野駅)



「春の駅前周辺美化植栽整備活動」をふらの観光協会の呼びかけにより実施し、花壇の整備を行いました。ポットには、富良野市の特産品であるワイン樽を使い、ラベンダーを中心とした花々を植えました。

観光ルート充実にに向けた観光バスの検討



人気観光地であるトマムと富良野エリアを結ぶ交通体系確保や充実にに向けた検討を行うため、富良野・美瑛ノロッコ号と接続する観光バスの実証運行を今秋行うこととし、関係者間で検討・準備を行いました。

室蘭線(苫小牧～岩見沢間)

炭鉄港を活用した室蘭線利用促進 (4月22日撮影・桑園駅)



室蘭線沿線の炭鉄港遺産やSL等の鉄道遺産を周知するポスターや散策コースチラシを沿線及び札幌圏の駅等で告知展開を行い、JRの利用促進を図りました。

室蘭線写真コンテストの作品をSNSでアップ (4月18日～掲載)



室蘭線写真コンテストの応募作品111点をfacebook「室蘭線で出かけよう」のサイトで、順次掲載することにより、コロナ禍のもとでも室蘭線に関心を高めていただく取り組みを継続して実施しました。

日高線(苫小牧～鶴川間)

定期券助成による列車通学の継続 (7月10日撮影)



むかわ町は、北海道鶴川高校に対する苫小牧市内からのJR定期券助成を令和2年度も継続しました。この制度を同校生徒63名が活用し、JRで通学されました。

鶴川駅ホーム舗装を改修 (4月23日撮影)



4月23日、鶴川駅1番・2番ホーム及び旅客通路のカラーゴムチップによる舗装工事が完了し、ホーム上の段差やひび割れが解消し、安全性・利便性が向上しました。